

会議録

会議の名称	令和6年度第7回新城市若者議会
開催日時	令和6年10月25日（金）午後7時から午後9時まで
開催場所	市役所4階会議室
会議の内容	令和6年度第7回新城市若者議会 ・政策案共有と質疑応答 ・議決

1 政策案共有と質疑応答

各委員会から現在検討をしている政策について全体へ共有を行った。また所属委員会以外のメンバーから政策内容について質問がなされた。質疑応答の内容は以下のとおりである。

若者政策委員会 「若者政策10周年記念事業」・ 「若者総合政策の更新」	<p>質問：グッズのデザインはどのようなものを考えているか。</p> <p>回答：10周年のマークやマスコットキャラクター「わかきゃっぴ」などを入れることを検討している。詳細は、今後検討する。</p> <p>質問：なぜ秋頃のこの時間にするのか。</p> <p>回答：秋にしたのは、過ごしやすい季節であるため。時間については、キャンプファイヤーを夜に行うため、逆算してイベントの開始時間を決めた。</p> <p>質問：どのようにして若者を集めるのか。</p> <p>回答：若者向けのイベントということで、文化祭のような雰囲気であれば集まってもらえるのではないかと考え、キャンプファイヤーという結論に行き着いた。キャンプファイヤーをしながら「未成年の主張」のような形で本音をぶつけ合える場をつくる。</p> <p>質問：若者総合政策の話で冊子をつくらと言っていたが、その予算が政策シートに書かれていない。</p> <p>回答：配布している政策シートは、「若者政策10周年記念事業」のみに関するもので、若者総合政策の更新については、その政策シートに記載していない。</p> <p>質問：使用料は何の使用料か。</p>
---	---

	<p>回答：新城文化会館を1日使う想定で使用料を計算している。具体的な内訳としては、大会議室、展示室、301・302・304会議室の5つの部屋である。</p> <p>質問：記念グッズのデザインは誰がするのか。</p> <p>回答：デザインについては、委託費の中に含まれているが、原案は委員会内で考える。デザインのアイデアがあれば教えてほしい。</p> <p>質問：301・302・304会議室を選んだのには意図があるのか。</p> <p>回答：どの部屋を使うかについては、事務局から提案をもらった。大会議室をメインで使うため、椅子や机の移動や控室のことを考え、この3部屋を想定している。</p> <p>質問：土日と書いてあるが、これは1日のみか。</p> <p>回答：土日のどちらかを予定している。</p> <p>質問：市外の若者団体を呼ぶのであれば、2日に分けて観光などもしてもらえたらいいのではないか。</p> <p>回答：2日になると、宿泊場所の確保や移動などの課題も出てくると思うが、1日は若者議会連盟で企画するなど、別の方法を検討する余地もある。貴重な意見として参考にさせていただく。</p>
<p>まちづくり委員会 「新城魅力探しの旅事業」</p>	<p>質問：市内でアンケート調査をしてレンタサイクルの需要を調べるという提案をするという認識で合っているか。</p> <p>回答：市ですでに民間企業と連携して実証実験を進めているため、若者議会としては、アンケートの実施や設置場所などを提案する。</p> <p>質問：レンタサイクルのPRなどは考えていないか。</p> <p>回答：アンケートを取ることで、それ自体が周知になると考えている。</p> <p>質問：具体的にどのようにアンケートを取るのか。</p> <p>回答：今年度からアンケート調査をする予定である。ターゲットは高校生としているため、高校生が集まるイベントや軽トラ市などに来る人たちにアンケートを取ろうと考えている。高校にも直接依頼することを検討している。</p> <p>質問：各地域自治区で行うつながる地域と若者の輪は誰が運営するのか。</p> <p>回答：各自治振興事務所の担当職員が運営する。</p>

	<p>質問：レンタサイクルは、市民向けの事業か、観光客向けの事業か。</p> <p>回答：観光で来る人と新城市内に住んでいる人の両方である。</p> <p>意見：二次交通という話であったため、一度、新城市公共交通計画に目を通してみるといいと思う。</p> <p>意見：中学生から出た意見やアイデアを若者議会で反映できるような仕組みを考えてみてほしい。</p> <p>質問：「新城を駆け巡れ シンコウリュウ」の名前の由来は何か。</p> <p>回答：他地域に行く時などに歩くのには限界があるため、もっと駆け巡りたいという思いと、新しい交流を増やしていきたいという思いでこの名前にした。</p> <p>質問：カタカナにした理由は。</p> <p>回答：漢字のほうが堅い雰囲気になってしまうという理由と、シンコウリュウの「シン」には新しいという意味に加えて新城という意味も含めたかったという理由がある。</p>
<p>未来の育み手委員会 「TSUNAGO ～未来共創プロジェクト～」</p>	<p>質問：実行委員会はどのように募集するのか。ボランティアのようなイメージか。</p> <p>回答：3月頃から広報ほのかなどで募集する。そのようなイメージである。</p> <p>意見：キッチンカーが来るということと、3歳から5歳の子どもには保護者がついてくることを考えると、対象者に保護者も含めてもいいのではないか。</p> <p>質問：ボランティア人材バンクはどのように運営するのか。登録しているボランティアにはどのように情報提供するのか。</p> <p>回答：登録してもらった人には、メールで送ることを考えている。</p> <p>質問：イベントはどこで実施するのか。</p> <p>回答：市民センターほうらいで実施することを考えている。</p> <p>質問：それはどうしてか。</p> <p>回答：そこで実際に子育てイベントが行われていると聞いたからである。</p> <p>質問：メールの一斉送信をするとのことであったが、団体とボランティアは市役所がつなげるのではな</p>

	<p>く、団体に直接連絡するのか。</p> <p>回答：コンタクトは個人個人でとる形になる。</p> <p>意見：高校生の時にボランティアをやっていたが、初めてやる方はドキドキしてしまうため、市を通すことで少しハードルが下がると思う。検討してみしてほしい。</p> <p>質問：チラシは委託して作るのか。</p> <p>回答：イベントのチラシ作成は委託し、ボランティア人材バンクのチラシは市が作る。</p> <p>質問：ボランティア人材バンクのアイデアが出た発端は何か。市内にそのような人材が欲しいという団体がどれぐらいいるのか把握しているか。また、実際に困っているなどの話をもし聞いていければ教えてほしい。</p> <p>回答：社会福祉協議会のボランティアセンターの人に話を聞いたところ、盆踊りなどのイベントで若者が参加することによって、高齢者の方が楽しんでいたという話を聞いたことがきっかけとなった。</p> <p>質問：周知方法の欄に書いてあるA4のチラシは、ボランティア人材バンクを周知するためのものか、ボランティアの内容を周知するものか。</p> <p>回答：人材バンク自体の募集を周知するためのものである。</p>
--	---

2 議決

各委員会は、質問や意見のあった内容について改めて話し合い、最終的な政策内容と予算を決定し、その結果を全体に共有した。議決に関しては、新城市若者議会条例第6条に基づき、議長進行のもと「答申すべき」「答申すべきでない」の2択で投票を行い、当日の出席委員の過半数で決した。以下は議決結果である。

●若者政策委員会「若者政策10周年記念事業」・「若者総合政策の更新」

政策：政策内容に変更なし
 予算：変更なし
 投票の結果：答申事業と決定

●まちづくり委員会「新城魅力探しの旅事業」

政策：政策内容に変更なし
 予算：変更なし
 投票の結果：答申事業と決定

●未来の育み手委員会「TSUNAGO～未来共創プロジェクト～」

政策：政策内容に変更なし

予算：変更なし

投票の結果：答申事業と決定

終了時間：午後 9 時